

町役場庁用車(グロリアバン)を 入札により売却します

自動車の情報

車名 グロリアバン(H11年式、色:シルバー)
走行距離 約127,000km
車検有効期限 H22.5.12
総排気量 1,990cc
型式 VY30-221624
その他 オートマチック、ガソリン車、エアコン、パワステ

公募要領

期間 平成22年3月26日(金)～4月13日(火)
8時30分～17時15分
開札日 平成22年4月14日(水) 9時30分
場所 智頭町役場(教育課)
方法 所定の様式(教育課に用意しています)により入札します
智頭町公式ホームページからダウンロードできます。
(<http://www1.town.chizu.tottori.jp/>)
最低制限価格 10,000円
落札結果 落札者へは電話連絡いたします。
落札結果については、後日智頭町公式ホームページに落札金額のみ開示いたします。

公募条件

次の経費は落札者において負担することとします。

1. 車両名義変更等、車両引渡しに係る必要経費
2. 車両引渡し後、車両に不具合が生じた場合の整備経費



問合せ先 教育課 ☎ 75-3112

くらしの情報

宇波地区でドコモの携帯が ご利用頂けるようになりました

NTTドコモ中国支社鳥取支店はこの度、智頭町宇波地区に新たに基地局の建設を行いました。これにより、電波が届かず通話やメールができなかった智頭町宇波地区でもドコモの携帯電話サービスを快適にご利用頂けるようになりました。

今後より多くのお客様に快適に携帯電話をご利用頂けるようドコモはサービスエリアの拡大・充実を図っていきます。

総合問合せ先

ドコモの携帯電話から (局番なし) 151(無料)
一般電話などから ☎ 0120-800-000

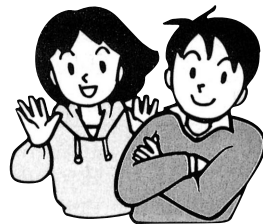
故障・エリア状況問合せ先

ドコモの携帯電話から (局番なし) 113(無料)
一般電話などから ☎ 0120-800-000

学生のみなさん！学生納付特例の申請はお早めに！

学生納付特例なら、「もしも」のときも安心です。

満20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入することが義務付けられています。しかし、学生の方は一般的に所得が少ないので、学生本人の所得が一定額以下の場合は、在学期間中の保険料の納付が猶予される『学生納付特例制度』があります。



対象となる学生… 学校教育法に規定する大学(大学院・短期大学を含む)、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である課程)に在学する方で、夜間・定時制・通信制課程も含まれます。

学生納付特例の承認を受けると… 学生納付特例の承認を受けた期間は、年金を受給するための必要年数(25年以上)に含まれる上、未納期間と異なり障害基礎年金等の受給要件で不利な扱いになりませんので、「もしも」のとき安心です。

- 学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までのため、毎年申請が必要です。4月になったら、市町村役場の国民年金担当窓口で手続きをしてください。
- 学生納付特例期間の保険料は、10年以内であれば、追納でき、追納された期間は将来の年金額に反映されます。
- これから20歳を迎える学生の方は、国民年金の加入と同時に手続きしましょう！
- 手続きには年金手帳、学生証か在学証明書が必要です。

* 学生納付特例申請の簡素化について *

前年度に学生納付特例を申請された方で、卒業予定年月を記入され、翌年度も引き続き在学中の場合は、必要事項を印字した申請書ハガキをお送りし、簡単な記入で申請を可能とする簡素化が図られます。

■問合せ先 鳥取年金事務所 ☎0857-27-8311

森の力が住民の元気の素

～森林セラピー講演会を開催～

智頭町森林セラピー推進協議会「普及・広報・営業」検討部会では、町民のみなさんに森林セラピーについて理解していただくために、森林セラピー講演会を3月2日、智頭町総合センターで開催しました。講師には、森林療法の第一人者で自らも森の癒しを実践されている、東京農業大学地域環境学部准教授の上原巖先生をお迎えしました。



先生のお話では「森林療法を考える前にもっと大切なことがあります。この現代社会にあって、働いている人が本当に元気であるのでしょうか、子どもたちが本当に元気であるのでしょうか。基本は地域の健康です。ここに森林セラピーが目指す方向を定めなければなりません。町民のみなさんが智頭の山に帰り、山の癒しに触れ、健康を維持することが町のPRになると思います。さらに、森林セラピーを利益誘導として捉えている風潮があることに不満を感じています。地域の人々が本当に望んでいることは健康であることなのではないでしょうか。もし、森林がしゃべることが出来たら、「森林も弱っているのに森林を売り物にして勝手にパンフレットなんかつくって」なんて小言を言うかも知れません・・・」など、ユニークな語り口を交えてのお話に会場のみなさんは聞き入っていました。

先生の講演後、町長から、「94%の森林が泣いている。町民の宝物が泣いている。もっともっと智頭町の山に目を向け町民の健康をつくる森林として蘇らせましょう」という力のこもったあいさつで講演会を終了しました。

智頭町森林セラピー基地認定記念イベントを開催

智頭町の森林セラピー基地認定については、昨年9月に認定機関の「NPO森林セラピーソサエティ」による実証実験を行い、いよいよ今春(4月上旬)に正式に認定を受けます。この認定を受け、智頭町では平成23年度のグランドオープンに向け、全国的な森林セラピーのまちとして事業を推進していく機運を盛り上げるため、基地認定記念イベントを開催します。

日時 平成22年4月24日(土) 午後1時30分から午後4時30分まで

会場 智頭町保健・医療・福祉総合センターほのぼの内「ひだまりホール」

内容 ・森林セラピー基地認定授与式 ・智頭町森林セラピー基地キャッチフレーズ発表
・森のガイド認定授与式 ・基調講演(NPO森林セラピーソサエティ事務局長 河野透氏)
・対談(鳥取県知事・河野氏・智頭町長)

※時間等は、若干変更もありますのでご了承ください。詳しくはチラシ等でお知らせします。



智頭農林高校森林科学科卒業生から寄贈

このたび平成21年度智頭農林高校卒業生から、ベンチ2脚、椅子1脚を寄贈していただきました。これは森林科学科の生徒が「課題研究」という授業の中で社会貢献をテーマに取り組んだベンチ製作及び案内板(竜山トレッキングコース設置)の内のベンチです。病院西側玄関、心和苑にそれぞれ設置し、地域のみなさんに利用していただきやすいように、材料や座の高さ、背もたれの角度などを考え製作されたものです。

地元高校生が思考をこらしたデザインにさっそく座られたみなさん、座り心地に思わず「にっこり」でした。

アルミ缶の収集ボランティア活動

2月24日、山形小学校から車椅子を2台寄贈

山形小学校4年生、山形小学校父母と先生の会では、地域の方の協力を得ながら、アルミ缶の収集ボランティア活動に取り組んでいます。その収益金で今年も昨年に引き続き智頭病院に車椅子2台を寄贈していただきました。平成5年から始まったこの活動も今年でトータル18台もの車椅子を贈っていただき、今年度は第5病棟と3階の老人保健施設ほのぼので使用させていただきます。

